

夢を語ろう、高校生と光市議会

～光の窓から日本の空を～

平成28年2月14日（日）開催

1 高校生の主張

光高等学校

【児玉柊人君】

こんにちは。光高校の児玉柊人です。本日はこのような機会を設けて頂き、ありがとうございます。私は今、下松に住んでいます。高校から光に通う事となり、下松市と光市の2つの市で生活をしてきました。その中で私が感じている下松市と光市の相違点、共通点を話したいと思います。それを踏まえて将来どういう街に住みたいかということと話したいと思います。

まず、私が思う相違点は2つあります。1つ目の違いは、交通安全です。下松市で生活しているときは自動車が横断歩道で道を譲ってくれることが多くあります。また、急に自動車や自転車が飛び出してぶつかりそうになる事は、ほとんどありませんでした。しかし、光市では登下校の際、事故が起こりそうな場面にたびたび会っています。横断歩道を渡ろうとしたら自動車が突っ込んできたり、お店からスピードを出して出てきたりということがありました。光高校に通い始めて2年ですが、このような体験を多く受けているので光市は交通マナーが悪いと感じています。自動車を運転する人や自転車に乗る人、歩行者が危険を予測しながら周りを見て生活する事が大切だと思います。例えば、通行人が多い場所や見通しの悪い場所を調べ、カーブミラーを設置したり、見通しの良い道路を造ったり、安全に生活できる環境を作ることで交通マナーが良くなるのではないかと思います。光市は安全、安心都市宣言を出しています。交通安全についても、もっと良くなれば良いなと思っています。

2つ目の違いは、光市は下松に比べてあいさつをお互いに交わす事が多いという事です。登下校の際、地域の方にあいさつをしたら「おはよう」とあいさつが必ず返ってきます。時には「今日も1日がんばって」と言ってくれます。募金活動を行った際にも「寒いのにご苦労さん。頑張ってるね。」と声をかけて下さいます。そのとき、あいさつして良かったなと思います。

次に光市と下松市の共通点は、人の心の温かさです。先日の駅伝大会において私は光高校の野球部で出場しましたが、地獄のような上り坂を走っていると途中で心が折れそうになりました。しかし、仲間や地域の方の声援をもらい走り切ることができました。人には誰でも弱い部分があり、自分に負けてしまい

そうになる事もあります。しかし、この経験から人からの温かい声援が力になり、自分を奮い立たせてくれるものだと感じました。これは下松市と光市で共通に感じたことであり、自慢できることだと強く思います。また、走っているランナーだけでなく、その他の人との関わりが自分にとって大きな力になるという事を知ってほしいと思いました。

以上のことから「安全で安心して毎日快適に暮らせる街」「あいさつを大切にし、住民が癒しを感じ取れる街」そして「地域の方々との心の交流があり、人情や温もりを感じ取れる街」、こうした心豊かで活力にあふれる街に住みたいと考えています。以上です。ご清聴ありがとうございました。

【磯部議員】光市と下松市の相違点、共通点をお話しされました。悪い点もしっかり指摘されて、すばらしいと思いました。私たち大人も気付かされた点もあります。交通安全についても、これからも原点に戻って生活していかなければならないと、ここにいる皆が思ったのではないのでしょうか。また、あいさつ、光市のいいところでもあります。マナーの原点でもあります。これからもきちんと挨拶していきたいと思います。また、光市、下松市の共通点として心の温かさを言われました。光市も、「優しさあふれるわのまち、ひかり」を掲げています。チームワークをしっかりと保ち、協力し、ご指摘いただいた部分はしっかりと改善したいと思っております。

【森戸議員】駅伝のお話をされましたが、おそらく1区を走られたのではないのでしょうか。私も1区を走りました。同じように沿道の声援を受け、力をいただきました。そのようなところは本当に光市の魅力だと感じています。また、児玉さん、すごくハキハキして元気で気持ちのいい方だと思いました。高校生活で培われたものだと思いますが、高校生活はいかがですか。お聞かせ願えますか。

【児玉柊人君】日々、野球と勉強の両立をしなければならない立場であります。野球は夜遅くまで練習をしていますが、先生や友達など、様々な周りの人に支えられて充実した高校生活を送れていると感じています。光高校に来て、本当に良かったと思っています。

【森戸議員】これからも、ぜひ頑張ってもらいたいです。ありがとうございました。

【土橋議員】私は人情という言葉をよく使います。古いと言われますが、すごく大事なことだと思っています。しかし、児玉君から人情という言葉が出てくるとは思ってもいませんでした。下松市との比較もすばらしかったと思います。あなたが言われる通り、人情や温もりを感じ取れる光市にしていかなければと、

強く思いました。ありがとうございました。

光丘高等学校

【高橋亮悟君】

人には好みがあります。甘いものが好きな人もいれば、辛いものが好きな人もいます。酸っぱいものが好きな人もいるでしょう。その人がどれだけいいと思っても、他の物に魅力を感じている人にはなかなか伝わらないものです。これから、私は「自分の思う住みたい街、こんな街であってほしい光市」というテーマで語らせていただきますが、あくまでも、ただの男子高校生の一意見として、お聞きいただきたいと思えます。

住みたい街について語るというのは、思いのほか難しいことです。コストや土地の事を考えると大抵の事は難しく感じ、だからといって「常識にとらわれないで」と言われれば、私は「天空の城ラピュタ」のような街がいい、と言うでしょう。もちろん、街を空に浮かせることなんて今の世界では夢のような話なので、私の希望は今のところ叶いそうにありません。私の中の住みたい街というのは、簡単に言えば、「安らぎと少しの楽しさがある街」です。その点においてラピュタには「安らぎ」も「楽しさ」も内包されているため、まったくの冗談という訳でもありません。「安らぎ」と「楽しさ」、言葉にするのは簡単ですが、これは、今日がバレンタインだけに甘いチョコに少しの辛みを混ぜ込むようなもので、この二つを含んだ街にすることは簡単ではありません。

では、今の光市はどうでしょうか。楽しさという点においては、夏になればお祭りや海といったイベントがあり楽しさがありますが、ほかの季節では、夏に比べてそういったイベントがやや少ないように感じます。全国的には、春になれば桜の木の下で食事、秋になれば鈴虫やコオロギ達による「鳴き声」という名の合唱、近年の秋は、ハロウィンも脚光を浴び始めました。冬には、クリスマスや正月といったイベントも日本には存在します。だから、光市もそういったイベントを、より一層屋外で行って頂けると、私はワクワクできるでしょう。

もう一つの安らぎについてですが、この点については、光市はすでにクリアしていると思えます。この街にはボウリング場や映画館といった若者が楽しめる施設があまりありません。だからこそ、今この街は落ち着いています。それに、おいしいものやくつろげる空間が光市にはあることを私は知っています。この街は侮れない、いや侮ってはならない、そして侮らせない、と思えます。

住みたい街というのは、自然にできるものではありません。誰かの努力や、人々の協力の上に成り立っています。今回、「こんな街に住みたいね」という会議に呼んでいただき、自分の意見を述べる事ができましたが、この意見がどこ

まで現実のものとなるかはわかりません。全くならないかもしれません。しかし、こうして少しでも住みたい街にしようとする行為こそが、大切なのだと、そう気づくことができました。

私からの意見は以上です。ご清聴ありがとうございました。

【笹井議員】ご指摘のように、光市は、海のまちなので夏には海水浴、花火のイベントがありますが、春・秋・冬には、そう大きなものは現状無いと認識しています。

全国的に見ると、池袋のハロウィンや北海道のよさこいソーラン祭りみたいなものが市民の運動から大きくなっている。私たちもそういった活動になるように取り組んで行けたらと考えています。

ラピュタといえば、和歌山県友ヶ島に旧日本軍が造った赤レンガづくりのまちがあって、苔に覆われていてラピュタのようになっています。これは、古い感覚でいうと史跡なんですけど、若い人の目から見ると、これはラピュタにそっくりなんだと、若い人の視点で新しい発見があり地域振興につながっている例もあります。是非、若い人の視点で光市の魅力などをご指摘いただけると助かります。

【畠堀議員】住みたいまちは自然にできるものではない、誰かがつくっていくんだという話でした。まさに、今から皆さんが中心となってまちづくりを担っていくのではないかと期待しているところで、特にイベントの事についてお話を聞かせていただき共感するところもあります。

せっかくの機会なので、皆さんが考えている光市に求めます夏以外のイベントで、これはという意見がありましたらご指摘いただけたらと思います。

【議長】高校生の皆様、何かありますか？こんなイベントをすれば、まちが活性化するとか心が一つになるとか、無いですか？（無し）

【中本議員】今日は、自分の思うような住みたいまちにしたい、こんなまちに住みたい話を聞かせていただきました。住みたいまちは「天空の城ラピュタ」アニメの素敵な映画だったと思います。このようなまちに私は将来高橋君と一緒に住んでみたい。その夢が叶うかもしれません。

今、全国では地方創生に向けた取組みを行っています。光市では、市川市長が光市の未来をつくる為に、理想的なまちは、住む人が幸せを実感できる豊かな社会だと位置づけをしています。それが、高橋君が言っている安らぎと楽しみの豊かで安全で安心できる、そして暮らしを営む事ができるというふうにつながると思います。

これは、みんなの共通の願いだと思っています。まさにまちづくりの基本は、今日言ってくれた安らぎと楽しみ、これがまちづくりの基本だと今日は感じま

した。

高橋君も最後に締めくくっていた、少しでも住みたいという気持ちを持ち続ける、それに気が付いた、本当に嬉しい事、ふるさとに帰っていただいてまちづくりに参画してください。今後の活躍に期待しています。

聖光高等学校

【石丸恭佳さん】

私は周南市立桜田中学校出身で、中学校の頃から続けている長距離走で都大路を走りたいという夢を持って、聖光高等学校に入学をしました。聖光高等学校陸上部では毎朝、光駅に集合し、学校まで約5キロの道のりを朝練を兼ねてジョギング登校しています。そのたびに、あらゆる場所で光市民の方々が「頑張れ」とか「前回の試合はよく頑張ったね」と声をかけて下さって、周南市在住の私はいつも「光市は本当に人と人のふれあいを身近に感じられる温かい町だ」と思っていました。

最近、ある記事で「若者が故郷を捨てる3つの意外な理由」というものを読む機会がありました。そこには ① 地域の良さを理解する機会がない ② 地域の人とつながる機会がない ③ 未来を作る方法を学んだことがない の3つの要素が挙げられていました。それを克服するために立ち上げられたのが「イノベーション教育」というものだそうで、「気づき、形にし、伝える」ことが大事になってくるとのことでした。私はこれを光市に当てはめて考えてみました。光市と言えば虹ヶ浜・室積海岸に代表される美しい海岸や山々など風光明媚な自然に囲まれた美しい町です。春にはたくさんの観梅客で賑わう冠山総合公園もあります。そして、この豊かな自然の中で、人々は毎日、穏やかに、安心・安全に暮らすことができていると思います。私が毎日のように市民の方々に声をかけていただけていたのも、人々が交流することができる土壌がこの光市にはもう十分出来上がっているのではないのでしょうか。私たち聖光高校でも光市のためにできる取り組みとして、定期的に校外清掃活動を行ったり、光市で催されているクリーンアップ作戦などに参加をしています。数年前には山口国体、昨年はねりんピックや世界スカウトジャンボリーが開催され、本校の生徒も補助員として参加をさせていただいたり、秋の交通安全キャンペーンの時には全校生徒を挙げて、その啓発運動のお手伝いをさせていただいています。そのように「光市」というのは市民参加型の町づくりを推進し、大きな成果を上げておられると私は感じています。

また、光市の教育は現在、地域を巻き込んだ活動が多く、「知的財産」と言われる高齢者の方と小、中学生が交流し、その財産を次の世代に繋げていくというコミュニティースクールも導入されていると聞いています。高齢化が進む現

在、山口県内もそれは深刻な状況にありますが、山口県を築き上げて下さった先人の知恵を若い世代に有効利用し、光市はもちろん県全体が活性化していくことは素晴らしいと思います。コミュニティースクールから発展して、もっと大きな輪につながっていくことが大切だと考えます。つまり「イノベーション教育」の前身は形づくられており、後はそれを活かす立場のある私たち自身の考え方にあるのではないかと思うのです。結論として私が理想とする光市は単に遊び場やショッピングセンターがあるということではなく、地域の方々が世代間の交流を通してこの恵まれた自然と高齢者の方の知的財産の共有・有効利用を通して、これからの光市の未来を担う若者たちが光市のことを全国に自信をもって発信できるような町づくりを行っていくことが大切だと考えます。つまり、次世代の私たちが今以上に光市を好きになることが大前提で、光市のために何ができるかを自分のこととして考えていくことで、光市は「住みたい町」へとこれまで以上に発展するのだと思います。

最後になりますが、初めにも述べたように高校3年間、私は光市の方々の温かい声援に背中を押されたり、見守っていただくことで、陸上に打ち込んでいくことができました。その温かさにふれ、私はいつか光市の方々のために恩返しをしたいと思う気持ちが強くなり、この4月より光市役所の職員として働くこととなります。私は本当に光市というのは可能性を秘めた町だと思っています。光市がこれまで以上に光輝く町になるように、これからは職員としてそのお手伝いをしていくことができればと考えております。一社会人として精一杯努力してまいりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

【西村議員】

すばらしい発表でした。原稿を見ないでお話をされたのはすばらしい事です。また、光市役所に入られて光市のために頑張ってください。

【四浦議員】

定期的に校外活動を行ったり、クリーンアップ作戦、山口国体、ねんりんピックなどのボランティア活動を行われたり、また陸上に打ち込まれたり、活動的で献身的、かつまじめな人柄と感心しました。この4月より光市役所に勤められるとの事です、市役所のこういった部署を希望されますか？

【石丸恭佳さん】

たくさん部署がある事は、陸上の先輩より聞いていますが、まだよくわからないのですが、これまで陸上を通じて、光市の方々にお世話になりましたので、どの部署に配属されても光市の方々に恩返しをしたいとか、感謝の気持ちを忘れないで頑張っていきたいです。

【大楽議員】

感動いたしました。すばらしい意見でした。
光市はクリーンアップなど活発に行っているので、是非そういったボランティア活動など推めて頂ければと思います。また今、全国移住ナビがありますが、是非周南市からの移住を期待します。

2 高校生と市議会議員の意見交換 要点筆記

光高校定時制 3 年 山根竜也さん：18 才になったら選挙権をもらえるようになるが、自己確立ができていない学生に選挙権をもたしても意味がないと自分は思います。また、自己確立が身につくようなイベントを光市でもやってほしいと思います。

大楽議員：非常にいい質問だろうと思います。この高校生議会、意見交換会こそがまさにイベントの一つだと思います。これを機会にお友達への波及をお願いします。

四浦議員：「なぜ 18 才なのか」ということは、専門家でもある選挙管理委員会事務局長に正確に話していただけたらと思います。山根君のご意見は「18 才では自己確立ができていない」と断定的に言われましたが、私にとっては抵抗のある言葉でした。ここにお集まりの高校生みなさんが、ひとりひとりどう思われているか、挙手ででも自分は自己確立ができていない、と教えていただきたいと思います。

西村選挙管理委員会事務局長：いま選挙権は、18 才では早いのではないかとのご意見がありました。年齢を引き下げるにあたって国会で議論がありました。当然いま言われたような意見もありました。では歳をとっている方はみんな自己確立ができていないのか、認知症を患われている方はどうか、そういう方々から選挙権を剥奪していません。制限があるのは年齢だけです。若い方でも自己確立ができていないからという理由で選挙権を取り上げることはできません。ではなぜ選挙権の年齢を下げたか。世界の潮流からするとほとんど 18 歳から選挙権が、なかには 16 歳という国もあります。これからは若者の意見を聞こうということで、このように選挙権年齢を引き下げたということです。

萬谷広報広聴委員長：自己確立ができていないので、選挙に行くのは抵抗があるという方は手を挙げてください。・・・(挙手は) ないですね。・・・では選挙権があるのなら当然選挙に行ってみいたい方・・・(挙手は) みなさん全員ですね。
(拍手あり)

聖光高校 3 年 村田昂大さん：まじめな質問の後に言いにくいのですが、皆さん、議員になる前はどのような職業に就いていたのか教えてください。

森重議員：主婦でした。子育ても致しました。議員になって、こんな質問をしてもいいのかなと思う事もありましたが、やはり、現場の声を市政に届ける必要があると感じました。政治は遠いものではありません。若い人たちもしっかり、街づくりなどに参画してもらいたいと思っています。

光丘高校 3年 橋堀亮太さん：現在、農業振興拠点施設「里の厨」がありますが、平成28年度以降、新しい農業振興拠点施設や道の駅を造る計画はありますか。また、光市の農業の特産物の加工品の開発の取り組みや予定はありますか。

加賀美議員：新しい農業振興拠点施設や道の駅を造る計画は現在のところはありません。しかしながら市民の声も多く出ていますし、取り組んでいかなければいけないことだと考えています。

田中議員：加工品についてですが、現在、農事組合法人つかりが大豆の生産に取り組んでおり、里の厨の工房H a H a がソイジョイのような「大豆さん」という商品の6次産業化を行っています。また、ニューファーマーという制度があるのですが、その方たちが、自然薯、イチジクの栽培に力を入れております。この辺りも注目しておいてもらえればと思います。

光高校 2年 片山恭平さん：高校生アンケート結果で、選挙に行かない、わからないが50%とあったが、自分たち若い世代が政治や選挙について詳しく知る機会がありますか。

西村選挙管理委員会事務局長：この17日に、光丘高校に県選挙管理委員会が来て出前授業をします。学校教育の中で、このような取り組みは増えていくだろうと考えています。また成人のつどいで、私どもがハッピーを着て「みなさん選挙に行きましょう」という啓発活動をしています。

聖光高校 3年 上原彩香さん：昨年夏に、全国移住ナビを啓発するためのプロモーションビデオに高校生の立場として出演させて頂きました。これからこのような光市を全国にPRしていくような企画などはありますか。

田中議員：まず、このプロモーションビデオを見たことがあるか、聞いて頂けませんでしょうか。

萬谷広報広聴委員長：それでは、この話題のビデオを見たという方、挙手をお願いします。

・・1/3くらいの方が見ておられますね。

木村則夫議員：このプロモーションビデオに出演されたという事で・・光市を思う気持ちが伝わってきました。このビデオの作成には背景があります。全国的に少子高齢化が進んできています。つまりこれからはこのような各自治体の取り組みが全国的に展開されます。

当然、光市も第2弾、第3弾とつなげていき、人口増に向けた取り組みを進め

ていくべきだと考えています。

西村議員：以前、光市で撮影されたソフトバンクのCM、見たという方、挙手をお願いします。・・全員がみておられますね。このようなものは、すごく効果があると思います。皆さんの柔軟な頭で思いついたことがありましたら、ぜひ、ご提案頂ければと思います。よろしくをお願いします。

萬谷広報広聴委員長：いかに光市に住んで頂ける方を増やすことができるか、ビデオに限らず様々な取り組みがされるとと思います。注目しておいて頂ければと思います。

光高校 1 年 河野慎平さん：事前のアンケートをみて気付いたんですけど、光市のまちづくりに参加したい、自分の意見をのべてみたいという学生は、アンケートの半分以上を超えています。このような学生の意見が反映される機会があるのでしょうか。

田中議員：光市では、元気なまち共同推進事業があって、市民グループ 5 人以上参加で、公益になることをやれば、補助金を出すしくみもあります。そういったところでイベントなどをやればと思います。また先程、議員になる前に何をやってたかという質問がありましたが、私は市民活動団体を立ち上げ活動するようになって、光市まちづくり協議会に呼ばれるようになって、それから議員になった訳で、みなさんもそういった思いが形になれば、まちも活性化していくので、ぜひ声をあげていただければと思います。

光高校 2 年 伊藤緋時さん：先程の高校生の主張で、光丘高校の高橋君が四季折々のイベントがほしいとおっしゃられていたんですけど、私、光高校の放送部で、光市にも灯火祭など四季のイベントがあるということ、はじめて知ったんです。そうしたイベントを市民や市外の人に知ってもらえたら、活性化すると思うんです。

木村則夫議員：伊藤さんのおっしゃる通りだと思います。さまざまなことを光市役所は取り組んでいるんですが、それを市民にどう伝えるかということが不十分ではないかと思っています。私も市役所のみなさんに「せっかく良いことをやっているんだから、それを市民に知らせ、共有しましょう」ということを呼びかけています。市民と市役所とが一緒になって、このまちに愛着を持てるようになろうと考えています。

光丘高校 3 年 中村果菜さん：私は下松に住んでいますが、下松にはザ・モール周南に広場があり、そこで様々なイベントなどが開催されています。光市にはそのようなイベントなどを開催する会場がありますでしょうか。そういう場所があったら、いろいろな方たちが使用し、それが光市のPRの場となると思うのですがいかがでしょうか。

磯部議員：大変いいご意見だと思います。ザ・モール周南は総合的にみて、人

が集まりやすい場所だと思います。光には冠山総合公園があります。そこには、屋外のイベント広場があります。若い方にどんどん使って頂ければPRにもなると思います。1年を通して、様々な取り組みを行って行くべきだと感じました。ありがとうございます。

笹井議員：確かに下松は市の中心部にザ・モールがあって、イベント等は開催しやすいと思います。逆に光市は分散型都市構造なのですが、それを活かしたイベントも数多く行われています。ぜひ、イベントの企画立案そして相談等をして頂き、光市を盛り上げて頂ければと思っています。

大楽議員：室積コミュニティセンターが3月5日にオープンします。ご提案のように、様々なイベント等の取り組みを企画していかなければと感じました。参考になりました。

四浦議員：たくさんの意見が出ましたが、ここで、高校生の皆さんに、どのようなイベントを企画したいのか、聞いて頂けませんかでしょうか。

萬谷広報広聴委員長：四浦議員から要望が出ましたが、今ここですぐ意見をお願いしますと言っても、うまくまとまらないと思います。素晴らしい企画がありましたら、市役所の3階に議員がいますので、ぜひ、ご相談に来て下さい。よろしくをお願いします。

光丘高校3年 中野晶翔さん：私は室積に住んでいます。買い物するにも不便、働くところも少ないので、人が集まりにくいと感じています。先ほど出ましたが、漁業、農業を活かした道の駅などを造ると室積ももっと発展するのではないかと思います。

磯部議員：これまでもたくさんの議員が、室積の活性化についての提案をされています。

漁協との協力や跡地利用を視野に入れながら、協議を重ねたいと思います。貴重な意見、ありがとうございます。頑張りましょう。

光高校 井沼田萌依さん：光市は自然が豊かで子育てがしやすいまちだと思うんですが、遊びに行くとなると、下松や徳山などに行くんですよ。で、光市にも若者が集まる楽しい施設ができたら良いと思うんですが、これから建てる予定とかありますか？

木村則夫議員：光市の豊かな自然、海あり山あり川ありの豊かな自然を持っているところは、全国でもわずかなんです。したがって、そういった素晴らしい財産を持っているということ、みつめてほしいんです。いまはインターネットとか通信も発達しましたしね、ちょっと足を延ばせば、楽しい遊び場所に行けます。私たちも、若い人たちが魅力あるまちづくりにしっかりと取り組んでまいりたいと思います。

3 傍聴者アンケート集計（自由記述）

傍聴席アンケート（傍聴者35人 回答15人）

- ・主権者教育の推進が求められている中、このような機会を設けていただき、感謝しています。また、生徒達の政治に対する興味関心を高める上でも、有効な企画だと思います。これからの光市を支える高校生の意見も参考にされ、活力ある光市づくりをお願いいたします。
- ・私の息子は高3で、今年、進学のため市外に出ます。進学で技術を身につけ、その後は光市に帰ってきてほしいと思っていますが、なかなか光で仕事をする事が難しく、また帰ってきたい街であるかどうかとも親として確信が持てないため、積極的に「帰っておいで」とは言えない状況です。若者が帰りたい街になる事を祈っています。
- ・公職選挙法が改正され全国で240万人の18、19才が参院選から有権者の一人となるわけですが、高校生と議会の取り組みはとてもタイムリーと思います。高校生の生徒達、率直な意見やしっかりとした考えを持ち、とても素晴らしいと思いました。
郷土（地元）への愛着心が培われた環境で健やかに育てられていると感動もしました。やはり、若い方の声を取り上げていくことはとても大切ですね。はじめは緊張の中ではじまりましたが、前向きな建設的な高校生の意見は勉強になりました。とてもよかったです。これからも光市議会、がんばれー。
- ・高校生のしっかりした意見に感心しました。選挙権年齢の引き下げにより、能動的な教育を推進してほしいと思います。高校生の言っているイベントの規模の大きさが不明でしたが、現在の光市のイベントとは別に集客人数の多いイベントを期待しているのではないのでしょうか。
- ・準備も含めて大変だったと思います。お疲れさまでした。いろいろと参考になりました。ありがとうございました。傍聴席、寒いですね。
- ・すばらしい高校生の皆様の意見、ありがとうございました。将来が楽しみです。あいさつをしっかり進めて、コミュニケーションを、と思っています。
- ・市議会の仕組み、選挙等、改めて勉強させて頂きました。高校生らしい意見が出た一方で、高校生とは思えない程のしっかりとしたビジョンを話す事の出来る人材が、光市を今後支え、さらに発展させてくれるのではないかと、大いに期待できる提言の発表でした。また、意見交換会ではリラックスした雰囲気、高校生からも様々な角度からの質問が出され、真剣に街づくりの事を若い世代が考えていると感じ、貴重な時間を過ごさせて頂

きました。本日、出席されている高校生の方には、ぜひ、学校に戻られてから、経験した内容を広めてほしいと思います。

- ・初めて議会を拝見しました。もっと堅苦しいものだと思っていましたが、意見がどんどん出てくる事に、正直驚きました。
- ・質疑、回答等もあるので、最後の講評はいらないのでは。「18歳の選挙権はチャンスだ」は good。出前、学校教育をもっと積極的に市議会としても取り組みできないか。市議会としてブランド農産物などの支援はできないか。また、企画してはいかがか。各地方都市に勝つための手段はあるのか。有意義な企画でした。
- ・高校生らは慣れない場所で緊張していたと思いますが、議員の皆様が、和やかな雰囲気を作っていたので、意見がしやすかったと思いました。この会が1回きりにならず続くことを望みます。参加した高校生以外にも議会や選挙に興味関心を抱かせるような取り組みが必要になってくると思います。「後は学校で」ではなく、生徒が外に出て関われるような場が整えられると嬉しいです。
- ・高校生にとっては貴重な場だったと思います。緊張していたが、議員の方が優しくていねいに対応してくださったので、良い顔で参加できたと思います。このような機会がまたあれば、積極的に参加させたいと思います。(引率担当より)
- ・なかなか、このような機会を設けて頂く事はなかったと思いますが、今回参加させて頂き、大変有意義で是非、来年度以降も実施して頂ければと思います。高校生がこのような場に参加させて頂く事で、高校生の年代も、ただ通いただけでなく、もう一度自分たちの街を見つめなおす良い機会だったと思います。私自身も勉強になりました。
- ・高校生の質問は大人では聞きにくい事を聞いてくれていたので、大変意味深だったと思います。光市議会の皆様も、ざっくばらんに話して頂いて、開かれた議会っていう感じで良かったと思います。こういう事業をこれからも続けてほしいです。
- ・未来を担う若者の貴重な意見を聞いて、彼らの声を形にする事業を作る事を考えており、それをしていく意味を感じる事ができました。若者と光市を結ぶ役割を担って行きたいと思います。光市に若者が根付く環境作りに努めたいと思います。
- ・高校生保護者として、参加をさせていただきました。光市は大好きなところなので、子供たちが、光市にいるとほっとできるステキな光市であることを希望しています。今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

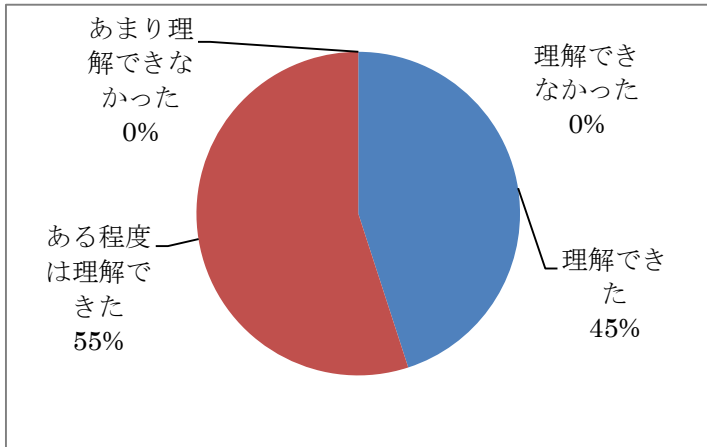
4 高校生アンケート集計（自由記述）

- ・自分の意見を直接話す機会がある事は、とても大切なことだと改めて思いました。
- ・自分が思っていたり考えていたりする意見以外にも、たくさんの意見を聞く事ができ、自分にはない発想からまた将来の光市についての自分の意見が新たに出て発想もふくらみました。
- ・光市をより活性化できるような町にして頂きたいです。
- ・大変充実した時間を頂きました。このような機会を増やしていけばいいと思いました。
- ・虹ヶ浜の花火大会の後など、イベントが終わった次の日のゴミが気になるので、団体に任せるのではなく、市民にゴミの処理、分別をさせた方がいいと思う。
- ・とてもいい機会をありがとうございました。
- ・もっとこのような交換会が開かれ、多くの学生の意見が反映されると良いと思います。
- ・自分たちの意見が、もっと入ってほしいです。
- ・とても良い意見を聞いた。学生なりに、どう生きてどう学ぶべきなのか、その意見が見えてくる意見交換会でした。
- ・今日は議場で話し合いができて良かったです。とてもいい時間だったと思います。
- ・これからの将来を担う若者たちが将来について考える機会があり、本当に大事にしたいと思いました。
- ・今回の意見交換会で光市の事について深く考える事ができ、とてもいい機会だと思いました。もっと良い光市にしていってほしいと思います。
- ・どんな職でも議員になれると知りました。今はまだ政治への興味が少ないですが、年を重ねるごとに関心が増すかもしれません。少しでも光市に貢献できる場が増えれば良いと思いました。
- ・光市を活性化させたりPRするためには、やはり、ちゃんと若者の声を聞くと、新しい事ができると思います。各学校に行って講演をしてみたらいいと思います。とても有意義な時間でした。
- ・今後の光市に大きな期待をしています。

5 高校生意見交換会 参加者アンケート集計

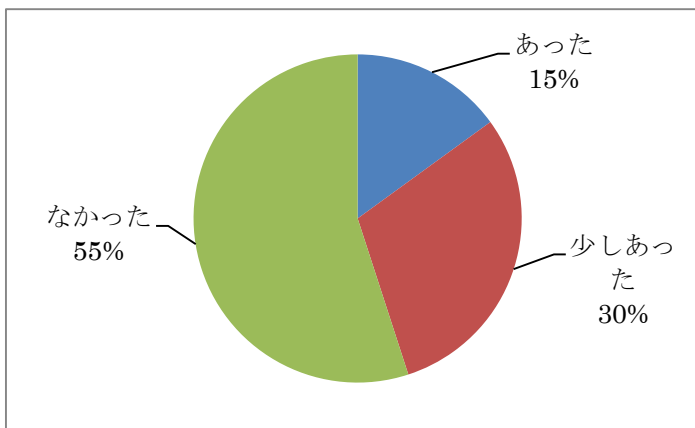
(光高等学校 7人、光丘高等学校 6人、聖光高等学校 7人 全員回答)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか。 n=20



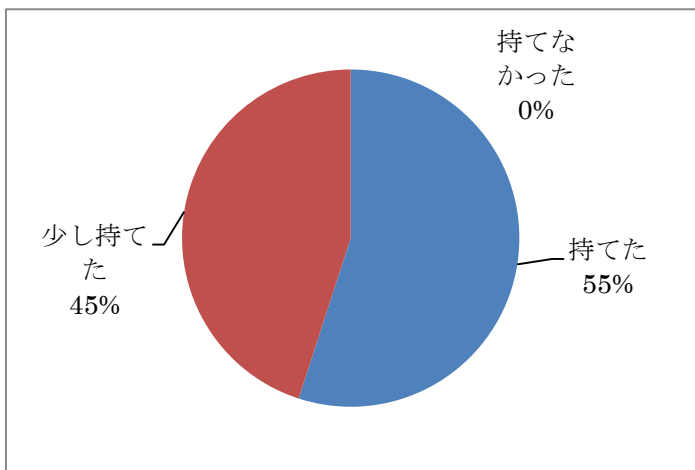
- ・理解できた 9
- ・ある程度は理解できた 11
- ・あまり理解できなかった 0
- ・理解できなかった 0

(2) 今まで市議会に関心はありましたか。 n=20



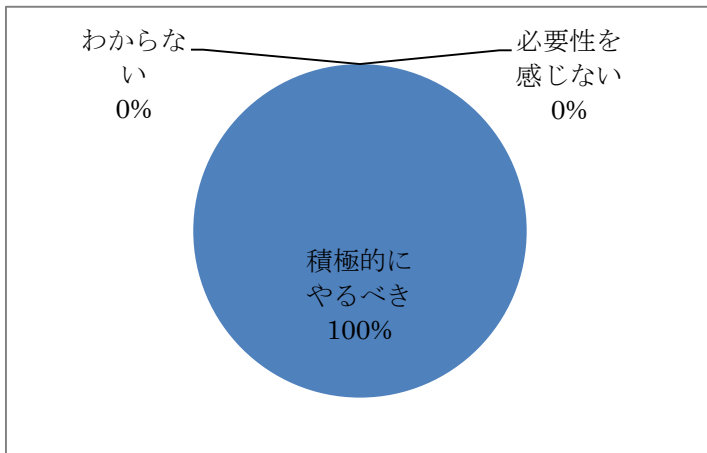
- ・あった 3
- ・少しあった 6
- ・なかった 11

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つ事はできましたか。 n=20



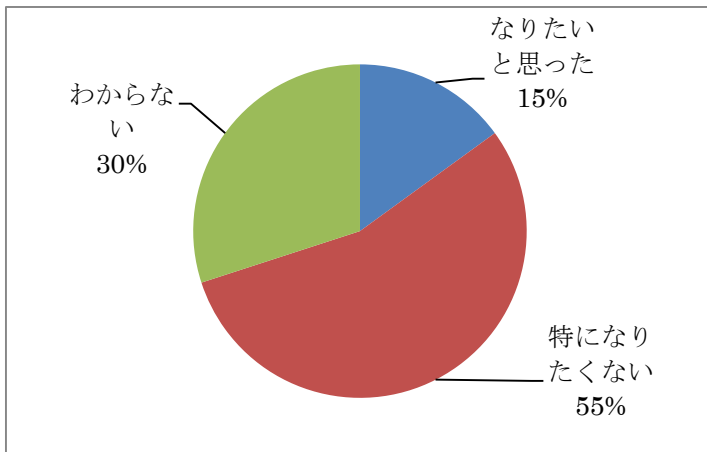
- ・持てた 11
- ・少し持てた 9
- ・持てなかった 0

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか。n=20



- ・積極的にやるべき 20
- ・必要性を感じない 0
- ・わからない 0

(5) ズバリ、市議会議員を始めとする政治家になりたいと思いますか。n=20



- ・なりたいと思った 3
- ・特になりたくはない 11
- ・わからない 6